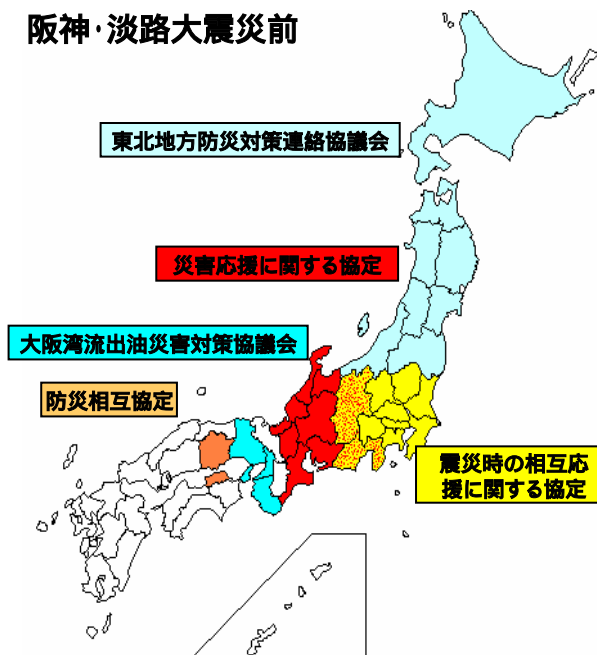


指標：都道府県間の防災協定

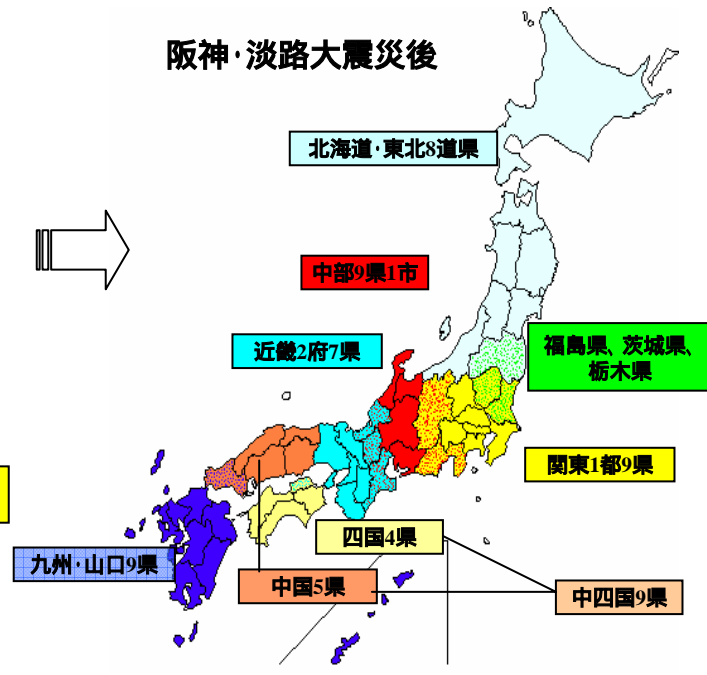
(広域連携による危機管理)

阪神・淡路大震災後、既存協定が広域化した他、新たな協定が締結され、全国がカバーされた。

阪神・淡路大震災前



阪神・淡路大震災後



この他に、埼玉、千葉、東京、神奈川と3市から成る7都県市、北陸3県、紀伊半島3県などの複数県防災協定がある。また、新潟・群馬、新潟・長野、新潟・富山、新潟・石川、石川・岐阜、岐阜・福井、兵庫・岡山、兵庫・鳥取の2県間防災協定がある。

(出典)総務省消防庁「地方防災行政の現状」(2001)等をもとに国土交通省国土計画局作成。